

第 18 回世界華商大会結団式を開催

世界華商大会は 1991 年にシンガポールで第 1 回が開催されて以来、計 17 回開催されており、現在では世界華商の交流と協力を促進する国際的なプラットフォームとして確固たる地位を築いています。日本中華總商会は、同大会における日本唯一の公式窓口として、これまで積極的に大会の推進に寄与してきました。

2025 年 10 月 16 日（木）、日本中華總商会は、11 月 2 日（日）から 4 日（火）に中国マカオで開催される「第 18 回世界華商大会」に向け、代表団の結成を正式に発表しました。本年代表団は 193 名で構成され、団長を蕭敬如氏、共同団長を嚴浩氏、執行団長を徐志敏氏、副執行団長を尚捷氏が務めます。代表団団長の蕭敬如氏、執行団長の徐志敏氏をはじめとする参加者が結団式に出席しました。



蕭敬如団長は挨拶の中で、今回の世界華商大会を契機に、国際的な協力の視野をさらに広げ、世界各地の華商とのネットワークを強化し、共に華商事業の持続的発展を推進していきたいと述べました。また、恒例行事として「CCCJ NIGHT」も開催し、海外の總商會を招いて、会員企業の交流の場を提供します。

徐志敏執行団長は、大会フォーラム「粵港澳大湾区の未来—協同発展による新たな生産力の創出」にて講演ゲストとして登壇する予定です。

日本中華總商會 事務局

2025 年 10 月 22 日